

平成 2 5 年度事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

平成25年度 事業報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

I. 概 況

平成25年度事業については、事業計画に則り公益目的事業と収益目的事業（賃貸事業）を実施した。公益目的事業については、科学技術に関する調査研究とその助成、国際交流に対する援助、新技術の振興に業績を挙げた者に対する表彰及びこれ等の普及・啓発に関する各事業を実施した。

当財団の主たる事業である科学技術に関する研究の推進については、科学技術に関する調査研究（自主事業）8課題、調査研究助成30課題、国際交流への援助2課題及び顕彰等の普及・啓発5課題を実施した。

また、収益目的事業については、計画どおりの賃貸収入を得ることができた。

II. 事業内容

1. 科学技術に関する調査研究の実施（自主事業）

次の9課題を選定し、6）を除く8課題の調査研究を実施した。

（課題内容は別表－1 参照）

- 1) 各種公募研究制度における研究者の選定方法に関する調査
- 2) 内外の大学及び研究所の運営状況調査
- 3) 世界大学ランキング2012－日本の大学の動向－
- 4) 国内オピニオンリーダーとの対話等を踏まえた原子力発電所の過酷事故の防止対策に関する調査研究
- 5) 科学技術の政策的課題選択における社会経済的状況を踏まえた”予測”と社会への反映に向けたアプローチの探索
- 6) 続・科学技術政策史－日米科学技術摩擦をめぐって－ジャパン・アズ・ナンバーワンの時代－（中止）
- 7) 科学技術調査研究助成事業・平成23年度採択課題の追跡調査
- 8) 「科学新聞」記事（昭和21年～昭和33年）データベースサーバーの運用支援
- 9) 新エネルギー基本計画の産業界へのインパクトに関する調査研究～エネルギー・イノベーション・エコシステムをふまえた現状と展望

以上の調査研究費の総額は54,361千円となった。

2. 科学技術に関する調査研究の助成

調査研究助成は、上期12課題（応募16課題）、下期18課題（応募21課題）、計30課題に対し総額55,400千円の助成を行った。

（助成課題は別表－2 参照）

3. 科学技術に関する国際交流への援助

2課題の研究者に対し、総額1,000千円の国際交流への援助を行った。

(課題は別表－3参照)

4. 科学技術振興のための普及・啓発の推進

シンポジウム等の開催及び顕彰に関する5課題に対し2,900千円の支出を行った。

(課題は別表－4参照)

5. 収益（賃貸）事業

財団が所有している浜松町 NH ビル（地上8階、地下1階）及び同ビル別館（地上5階）の賃貸事業を行った。賃貸フロアは次の通り。

浜松町 NH ビル （賃貸 6テナント・8フロア）

浜松町 NH ビル別館（賃貸 5テナント・5フロア）

Ⅲ. 理事会の開催

(1) 第8回理事会

開催日時 平成25年6月12日（水） 15:00～16:30

開催場所 財団会議室

議決事項 1) 平成24年度決算報告書、事業報告書、公益目的支出計画実施報告書の承認について

2) 役員候補者の承認について

3) 第4回評議員会の招集の決定について

4) 評議員及び役員報酬規則の一部改正について

5) 役員退職慰労金について

(2) 第9回理事会（臨時）

開催日時 平成25年6月26日（水） 16:40～16:50

開催場所 東海大学校友会館 諏訪の間 （東京都千代田区霞ヶ関3-2-5）

議決事項 1) 新代表理事（新理事長）の選定について

(3) 第10回理事会

開催日時 平成25年10月15日（火） 16:00～17:20

開催場所 財団会議室

議決事項 1) 平成25年度下期科学技術調査研究助成課題の採択及び助成額の決定について

報告事項 1) 定款第26条に基づく理事長の職務執行報告

(平成25年4月1日～平成25年10月15日)

(4) 第11回理事会

- 開催日時 平成26年3月26日(水) 15:00~16:35
開催場所 財団会議室
議決事項 1) 平成26年度事業計画書及び予算書の決定について
2) 平成26年度上期科学技術調査研究助成課題の採択及び助成額の決定について
報告事項 1) 定款第26条に基づく理事長の職務執行報告
(平成25年10月16日~平成26年3月26日)

IV. 評議員会の開催

(1) 第4回評議員会

- 開催日時 平成25年6月26日(水) 15:00~16:30
開催場所 財団会議室
議決事項 1) 平成24年度決算報告書の承認について
(貸借対照表、正味財産増減計算書及び付属明細書)
2) 役員の選任について
3) 評議員及び役員報酬規則の一部改正について

V. 科学技術振興課題審査委員会の開催

(1) 第4回科学技術振興課題審査委員会

- 開催日時 平成25年10月3日(木) 15:00~17:00
開催場所 財団会議室
議事事項 平成25年度科学技術調査研究助成課題(下期)の選考について

(2) 第5回科学技術振興課題審査委員会

- 開催日時 平成26年2月28日(金) 15:00~17:00
開催場所 財団会議室
議事事項 平成26年度科学技術調査研究助成課題(上期)の選考について

VI. 資産運用委員会の開催

(1) 第3回資産運用委員会

- 開催日時 平成25年7月23日(火) 15:10~17:00
開催場所 財団会議室
議事事項 1) 平成24年度事業報告書及び決算報告書について
2) 保有財産の運用概況について
3) 正味財産等の推移について

(2) 第4回資産運用委員会

- 開催日時 平成25年10月29日(火) 15:00~16:55

開催場所 財団会議室

議事事項 1) 資産の運用について

VII. 科学技術調査研究助成課題の成果報告会

(1) 平成24年度上期助成課題成果報告会

開催日時 平成25年9月12日(木) 13:15~19:00

開催場所 法曹会館

報告課題 16課題

出席者 助成課題申請者・その関係者、当財団役員、評議員及び課題審査委員

(2) 平成24年度下期助成課題成果報告会

開催日時 平成26年3月13日(木) 13:30~19:00

開催場所 法曹会館

報告課題 14課題

出席者 助成課題申請者・その関係者、当財団役員、評議員及び課題審査委員

VIII. 評議員、役員

平成26年3月31日現在

評議員	役員
緒田原 涓 一	理事長 武 安 義 光
鍵 山 真由美	理 事 太 田 充 代
金 原 和 夫	同 川 崎 雅 弘
倉 本 昌 昭	同 木 村 茂 行
齋 藤 伸 三	同 児 玉 柳 太 郎
佐 藤 征 夫	同 高 木 喜 一 郎
島 田 博 文	同 高 園 武 治
森 田 一 樹	同 中 西 友 子
吉 本 誠	同 藤 岡 宏 衛
	監 事 神 林 留 雄
	同 木 下 亨

(注) 1. 評議員任期：平成23年6月 1日～定款第14条に定める日

2. 役 員任期：平成25年6月27日～定款第28条に定める日

*役員異動 新任：太田充代、高木喜一郎(平成25年6月27日)

退任：渡邊美津子(平成25年6月26日)

平成25年度科学技術調査研究、調査研究助成、援助等に関する一覧

別表-1 科学技術調査研究の実施(自主事業)

交付番号	課 題	内 容	実施機関
R-H25-84	各種公募研究制度における研究者の選定方法に関する調査	わが国の公募研究制度における研究者の選考方法について、主な制度を対象に公募開始から採択までのプロセスを調査し、各制度における特徴、問題点等を把握・比較検討することにより、公募研究制度の適正かつ効果的な運用についての考察を行う。	(一社) 新技術協会
R-H25-85	内外の大学及び研究所の運営状況調査	内外の大学、研究所等を訪問し、組織体制、人員、予算など運営全般に関わる状況を調査するとともに、研究開発現場との意見交換を通じて、運営上の問題点を把握し、それを基に今後の我が国における大学、研究所等の運営に関する改善の方向を提言する。	(公社) 科学技術国際交流センター
R-H25-86	世界大学ランキング2012—日本の大学の動向—	平成22年度の自主研究「世界大学ランキングの意味—日本の将来への影響と対策—」の結果、日本の大学は種々の問題を抱えており、刷新なしには競争力の現状維持すら容易ではないことが判明、最新データを用いて毎年フォローアップしている。	(一財) 新技術振興渡辺記念会
R-H25-87	国内オピニオンリーダーとの対話等を踏まえた原子力発電所の過酷事故の防止対策に関する調査研究	我が国のオピニオンリーダーを対象に、フォーラムの開催やウェブツール等を活用して検討を進め、技術的な側面からまとめた前年度の提言が実践されていくための課題について調査・分析を行う。	(公社) 科学技術国際交流センター
R-H25-88	科学技術の政策的課題選択における社会経済的状況を踏まえた”予測”と社会への反映に向けたアプローチの探索	欧州(フォーサイト)や我が国で実施してきた過去の科学技術予測をもとに検討時に想定した社会についての情報を収集・分析を行い、我が国の科学技術予測のよりよい改善に資する社会経済的課題の把握方法・アプローチ等について検討を行う。	(公財) 未来工学研究所
	続・科学技術政策史—日米科学技術摩擦をめぐって—ジャパン・アズ・ナンバーワンの時代—	(中止)	
R-H25-89	科学技術調査研究助成事業・平成23年度採択課題の追跡調査	当財団の科学技術調査研究助成事業に関し、調査研究が終了した23年度採択課題を対象にしたアンケート調査・面接調査により、各課題の実施状況、展開状況等を把握すると共に本事業の有効性・改善点等を明らかにする。	(一社) 新技術協会
R-H25-90	「科学新聞」記事(昭和21～33年のデータベースサーバーの運用支援	敗戦後間もない昭和21年4月創刊の『科学新聞』には、当時の日本の科学・技術・世相が比較的多く掲載されている。5年かけて昭和21～33年の記事をデータベース化した。その公開を後1年間継続する。	(株) 科学新聞社
R-H25-91	新エネルギー基本計画の産業界へのインパクトに関する調査研究～エネルギー・イノベーション・エコシステムをふまえた現状と展望	新たなわが国エネルギー基本計画を基に産業界への影響等について具体的に調査を行い、技術革新の影響にポイントを置いてわが国エネルギー需給構造の動向とあるべき姿について検討を行う。特に種々の技術や産業が連携し合い影響し合って技術革新を起こしていくイノベーション・エコシステムの動向に重点を置く。	(一社) 科学技術と経済の会

(8課題)

別表-2 科学技術調査研究の助成

交付番号	調査研究課題名	申請者所属機関
S-H25-320	臨床検査技師養成校での病院実習の教育効果と精神的ストレスの調査研究	文京学院大学大学院
S-H25-321	アジアにおける日本の技術者高等教育プログラムの相対的達成度と課題	徳山工業高等専門学校
S-H25-322	水災害から命を守る技術に関する国際調査研究	長岡技術科学大学
S-H25-323	科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」のための歴史的研究	(公社)科学技術国際交流センター
S-H25-324	科学館における3Dデジタル映像技術を用いた科学技術教育の効果に関する調査研究	(公財)日本科学技術振興財団
S-H25-325	中堅・中小企業の技術優位性を国内に担保した戦略的海外展開方策の調査研究	(一社)新技術協会
S-H25-326	Asian Space i構築のためのアジア地域における宇宙情報ニーズ調査	(一財)日本宇宙フォーラム
S-H25-327	わが国のエネルギー供給形態の急激な変化が市民の意識とライフスタイルに与える影響	(一財)未踏科学技術協会
S-H25-328	「科学新聞」記事(昭和21～33年のデータベースサーバー)の運用支援	(一社)科学技術と経済の会
S-H25-329	先端的中性子ビーム利用技術の産業利用促進のための理解度促進-II	(一財)放射線利用振興協会
S-H25-330	高空間分解能衛星画像を用いた藻場分布域のモニタリングに関する調査研究	(一財)リモート・センシング技術センター
S-H25-331	大規模シミュレーションを活用した新奇ナノ炭素による量子デバイスの創案に関する調査研究	(一財)高度情報科学技術研究機構

(12課題)

S-H25-332	草の根イノベーションを牽引するコーディネート人材モデルの深化	高知工科大学
S-H25-333	視覚デザインを活用した新たな科学コミュニケーション活動モデルに関する調査研究	京都工芸繊維大学
S-H25-334	地域資源と地域連携を基軸とする科学技術教育教員養成カリキュラム開発の調査研究	高知大学
S-H25-335	東アジアにおける次世代自動車普及と技術移転に関する研究	九州大学
S-H25-336	多種大量データによる知的センサネットワークの基盤技術確立と農業分野への適用考察	沼津工業高等専門学校
S-H25-337	3Dプリンター技術のものづくりへの影響とその応用に関する調査研究	(一社)新技術協会
S-H25-338	社会インフラ構造物の老朽化機器に向けた維持・管理とセンサ活用に関する研究	(一社)科学技術と経済の会
S-H25-339	海底の土中の放射性核種の鉛直分布推定可能な海底γ線計測システムについての調査検討	(公財)日本海洋科学振興財団
S-H25-340	科学技術駆動型イノベーションと、それを支える工学研究の成功事例に関する調査研究	(公社)日本工学会
S-H25-341	自然エネルギーによる自立分散システムの実現に向けた技術集積に関する合意形成の試み	(公財)九州先端科学技術研究所
S-H25-342	外国人研究者の遠隔型生活支援のためのホームページ開発について	(公社)科学技術国際交流センター
S-H25-343	材料科学に基づく機能から見た材料と社会の関係	(一財)未踏科学技術協会
S-H25-344	海外における宇宙を用いた海洋状況認識(MDA)の活動に関する調査	(一財)日本宇宙フォーラム
S-H25-345	衛星データとGISデータの複合解析による水域の3次元情報抽出に関する調査研究	(一財)リモート・センシング技術センター
S-H25-346	ナノカーボン超伝導体に関する調査研究	(一財)高度情報科学技術研究機構
S-H25-347	新興国市場開拓に向けた日本企業の研究開発活動の現状と課題	(公財)未来工学研究so
S-H25-348	地域の産業振興に向けた公的資金の活用と技術開発の進展・展開にみる技術蓄積調査	(公財)全日本地域研究交流協会
S-H25-349	電子顕微鏡画像のデータベース化に関する調査研究	(NPO)総合画像研究支援

(18課題)

別表-3 科学技術国際交流の援助

交付番号	課題名	態様	開催地	申請者
M-H25-41	OPTICS&PHOTONICS International Congress 2103	国際研究集会等開催	パシフィコ横浜 (横浜)	中井 貞雄 OPI協議会長
I-H25-9	アフリカにおける宇宙技術 を活用した野生動植物保護 活動及び生物多様性管理の 強化に関するリモートセン シング技術の講習 (2課題)	外国科学技術者招 へい	リモート・セン シング技術セン ター (港区虎ノ門)	伊藤 恭一 リモート・センシング技術セ ンター 特任参事

別表-4 科学技術振興のための普及・啓発の推進

交付番号	名称	態様	主催者、表彰者等
W-H25-59	第41回技術・経済シンポジウム 開催日：平成25年4月19日 会場：ホテルグランドパレス	シンポジウム協賛	(一社)科学技術と経済の会
IP-H25-21～ 22	第38回井上春成賞 研究奨励金贈呈 (2件 1件1,000千円) 開催日：平成25年7月17日 会場：経団連会館	研究者表彰後援	井上春成賞委員会 江川 考志氏 (名古屋工業大学) 石川 康寿氏 (栃木県農業試験場)
W-H25-60	未踏科学技術協会創立40周年記念シンポジウム 「未踏科学・技術が解決する日本の課題」 開催日：平成25年7月23日～24日 会場：アルカディア市谷	シンポジウム協賛	(一社)未踏科学技術協会
W-H25-61	科学技術調査研究助成課題成果報告会 (平成24年 度上期課題) 開催日：平成25年9月12日 会場：法曹会館「高砂の間」	助成課題成果報告	(一財)新技術振興渡辺記念会
W-H25-62	科学技術調査研究助成課題成果報告会 (平成24年 度下期課題) 開催日：平成26年3月13日 会場：法曹会館「高砂の間」	助成課題成果報告	(一財)新技術振興渡辺記念会

(5課題)

事業報告の付属明細書

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

平成 25 年度事業報告には、「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

以上